日韓グローバルフォーラム（国際シンポジウム）の開催
P ネットワーク分析を用いた企業間ネットワーク研究の可能性
―日韓中小企業ネットワークの現況―

文責：新潟大学経済科学部助教　曽國哲

2023 年 2 月 14 日（火）に新潟大学アジア連携研究センター附置・中小企業ナレッジネットワークセンターが主催で、韓国 Hanbat 大学経商学部と Hanbat 大学地域産業研究所が共催で、「ネットワーク分析を用いた企業間ネットワーク研究の可能性-日韓中小企業ネットワークの現況-」をテーマとしてグローバルフォーラム（国際シンポジウム）を、会場と zoom とのハイフレックス式で開催しました。開会の挨拶は、新潟大学の澤村明理事・副学長にご担当いただきました。フォーラム全体は、①基調講演、②リサーチセクション 1 、③リサーチセクション 2 、④全体討論の三つパートで行いました。

①基調講演では、韓国側の基調講演は Hanbat 大学経商学部の CHOI Jongin 教授に「韓国の起業家的な大学具現のための政策、過去そして現在」についてご講演していただきました。日本側の基調講演は燕市産業振興部商業振興課新産業推進係長の小澤直義係長にご講演していただきました。

②リサーチセクション 1 では、Hanbat 大学の先生二方に調査・研究結果に報告していただきました。Hanbat 大学経商学部の JOO Jaehyeong 教授に「主要顧客の売上集中度が企業の財務成果に与える影響―供給者と購買者のネットワーク・パワーの影響を中心に―」をご発表され、Hanbat 大学経商学部の PARK Jonghoon 教授に「地域ネットワークと地域経済成長の関係性に関する研究」をご発表していただきました。

③リサーチセクション 2 では、新潟大学の先生二方に調査・研究結果に報告していただきました。新潟大学経済科学部の中東雅樹准教授に「燕三条地域の金属製品製造業におけるネットワーク構造と生産性の関係に関する定量的分析」をご発表していただき、新潟大学経済科学部・SME センター長の有元知史准教授に「中小企業ネットワークの中核的役割を果たす企業の特色」をご発表していただきました（図 1）。

④全体討論では、パネルディスカッションを行い、発表者同士が相互に研究発表について質問をしあい、有意義な意見交換を行いました（図 2）。例えば、新潟大学の有元准教授は、Hanbat 大学の JOO Jaehyeong 教授に、2020 年から新型コロナウイルスパンダミックが世界中大流行になった後の顧客消費行動や企業の対応などどのようになっているのかを質問されましたが、そこまでの調査はまだ含まれていないが、それはものすごく重要なトピックとして今後調査・研究を展開すると JOO 教授は回答しました。また、新潟大学の中東准教授は、Hanbat 大学の PARK 教授に、公共経済と地域社会との相関関係を分析するために使う統計モデルについて質問しました。他に、会場にいらした Hanbat 大学の他の教授方々は、小澤係長に対して燕市での廃業状況、企業承継に対する援助などを質問されました。本グロ

ーバルフォーラムでは、日韓の研究者では豊かで有意義な議論ができました。閉会の挨拶は、Hanbat 大学経商学部の JI Seonggoo 学部長にご講演いただきました。

グローバルフォーラムの夜に懇親会が開催されました。新潟県新潟市のブドウ畑やワイン醸造としての有名なカーブドッチのワイナリーで開催しました。カーブドッチのワイナリーで、フォーマルな学術交流だけでなく、インフォーマルな文化交流も行い、美味な地ワインだけでなく、新潟県の有名な日本酒の地酒で乾杯しました。

図 1 新潟大学経済科学部・SME センター長の有元知史准教授のご講演

図 2 パネルディスカッション